

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所 名
 コード番号 3775 URL https://www.gaiax.co.jp
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 野澤 直人 TEL 03-5759-0300
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	900	41.1	△201	-	△197	-	△36	-
2020年12月期第2四半期	1,529	67.7	439	-	439	-	440	-

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △148百万円 (-%) 2020年12月期第2四半期 1,579百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△7.34	-
2020年12月期第2四半期	89.58	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,380	1,659	67.2
2020年12月期	2,660	1,781	65.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,599百万円 2020年12月期 1,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

ソーシャルメディアサービス事業については、非接触型の新しい販促スタイルが確立され、マーケティングやプロモーションにSNSを活用することが一般的となってきたことから、売上高については、2021年12月期においても安定的な需要が予想され、2020年12月期と同水準を見込んでおります。インキュベーション事業においては、引き続き新規サービスの発掘・拡販に注力してまいります。新規サービス並びに保有する株式の価値については、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予測が極めて困難な状況であります。そのため、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後の業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。影響が判明した際は速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）有
新規 1社 （社名）株式会社WECOOK Japan、除外 1社 （社名）EDGE株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	5,147,752株	2020年12月期	5,147,752株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	234,694株	2020年12月期	234,694株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	4,913,058株	2020年12月期2Q	4,913,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた緊急事態宣言の再発令やその期間延長により、景気の下押し圧力が高まりました。一方、65歳以上対象のワクチン接種は開始より順調にその数を伸ばし、6月から職域接種も開始されるなど、新型コロナウイルスの対策は進捗していますが、未だ感染収束の見通しは立っており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、新型コロナウイルス感染対策を契機としたテレワークの浸透が、新たな市場を形成すると共に、既存の対面ビジネスのあり方を変えつつあります。シェアリングエコノミー分野においても、新型コロナウイルスの影響を受けてはいるものの、2030年度には最大約14兆円にまで市場が拡大すると予測されています。当社においては、かつてひとつの事業部でありカーブアウトオプション制度にて分社化してきたEDGE株式会社が、4月には1.5億円超の資金調達を実施するなど、いち早く市場ニーズに対応する複数の企業を立ち上げ、キャピタルゲインを目指すスタートアップスタジオとしての取り組み成果が現れております。

このような背景のもと、当社は、引き続き成長が期待されるシェアリングエコノミー分野およびオンライン事業分野に注力し、様々なサービスの開発や起業・事業支援をするとともに、ソーシャルメディアサービス事業のノウハウを展開し、ビジネス領域の更なる拡充と優位性の確保に努めてまいりました。

2021年4月には、「株式会社WECOOK Japan」を設立し、クラウドキッチン事業へ進出いたしました。また6月には、「株式会社GENIC LAB」を完全子会社化し、SNSマーケティング領域におけるいっそうの競争力強化に努めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、インキュベーション事業で保有している営業投資有価証券の売却は行わなかったため、前第2四半期連結累計期間に比べて大幅に減少いたしました。また、インキュベーション事業においては、引き続き投資フェーズであることから外注費が増加いたしました。

この結果、売上高は900,057千円（前年同期比41.1%減）、営業損失は201,703千円（前年同期439,278千円の利益）、経常損失は、197,635千円（前年同期439,037千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、36,054千円（前年同期440,131千円の利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（ソーシャルメディアサービス事業）

①ソーシャルメディア領域

<コミュニティパッケージ、企業向けブログ、活性化サービス>

Facebook、Twitter、LINE@、Instagram、ブログなどソーシャルメディア活用の企画提案やシステム構築・運営、多店舗向けのブログシステムの提供、グループウェア、クラウド型グループウェアを提供

②マーケティング支援領域

<ソーシャルメディアマーケティング、Webマーケティング>

ソーシャルメディアやブログなどを活用したマーケティングのコンサル業務、Webサイトの構築・運営

③その他領域

動画面接スカウトサービスのオンライン就活、ウェルビーイング、コーチング

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、政府より「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が再発令され営業活動が制限される中、主にTwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを活用したプロモーションの代行業務及びコンサルティング売上が安定的に計上いたしました。また、SNSマーケティング企業の「株式会社GENIC LAB」の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。ガイアックスが持つ「ロジカルなデータ分析と戦略設計」にGENIC LABが持つ「感覚的に人々に刺さるクリエイティブ制作」という武器を加えることでSNSマーケティング領域での更なる事業拡大を目指します。

システム運用においては、AWSクラウド構築・運用の「Cloud Sun」において新たに災害復旧用の「DR環境構築・運用サポート」をリリースし、安定的な収益基盤の強化に努めてまいりました。営業費用は、外部リソースを積極的に取り入れたことにより外注費が増加いたしました。この結果、売上高は716,609千円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は156,310千円（前年同期比19.0%減）となりました。

（インキュベーション事業）

インキュベーション事業は、グループ外における投資育成支援（グループ外インキュベーション）とグループ内で創設される新規事業（グループ内インキュベーション）で構成されております。

グループ外インキュベーションにおきましては、投資先企業の株式を保有し、事業育成・成長支援などのハンズオン支援を行っております。

グループ内インキュベーションにおきましては、地域体験マッチングサービス「TABICA」、海外在住の日本人が案内する「LOCOTABI」、オンライン配信サービスなどを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、保有している営業投資有価証券の売却はありませんでした。そのため売上高及びセグメント利益については、前第2四半期連結累計期間に比べて大幅に減少しております。また、各サービスにおいては引き続き投資フェーズである中、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により営業自粛が続いており、Nagatacho GRiDの運営は厳しい状況となっております。一方、このような環境の中、スタートアップスタジオでは、東北初の産官学連携山形県立米沢東高等学校の高校生に向けて起業ゼミを開始しました。また、コロナ禍において、急速な成長を続けるフードデリバリー市場に着目し、フードデリバリー先進国、韓国にて最大手である「WECOOK」を運営する株式会社シンプルプロジェクトカンパニーとの合弁会社、株式会社WECOOK Japanを設立しました。

この結果、売上高は187,575千円（前年同期比75.4%減）、セグメント利益は△201,146千円（前年同期393,310千円の利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%減少し、2,110,640千円となりました。これは、主に現金及び預金155,625千円、営業投資有価証券が132,957千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.9%増加し、269,715千円となりました。これは、主に建物及び構築物（純額）が16,856千円、敷金保証金が7,040千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.5%減少し、2,380,356千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.0%減少し、353,595千円となりました。これは、主に流動負債のその他に含まれる前受金が41,530千円、流動負債のその他に含まれる未払金が13,673千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.9%減少し、367,729千円となりました。これは、主に繰延税金負債が53,873千円、長期借入金が26,126千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて17.9%減少し、721,324千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、1,659,031千円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が106,560千円、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失により36,054千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ソーシャルメディアサービス事業については、非接触型の新しい販促スタイルが確立され、マーケティングやプロモーションにSNSを活用することが一般的となってきたことから、売上高については、2021年12月期においても安定的な需要が予想され、2020年12月期と同水準を見込んでおります。インキュベーション事業においては、引き続き新規サービスの発掘・拡販に注力してまいります。新規サービス並びに保有する株式の価値については、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予測が極めて困難な状況であります。そのため、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後の業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。影響が判明した際は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	846,114	690,489
受取手形及び売掛金	194,015	185,273
営業投資有価証券	1,297,283	1,164,325
その他	85,627	73,733
貸倒引当金	△3,481	△3,181
流動資産合計	2,419,559	2,110,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	14,477	31,333
工具、器具及び備品 (純額)	24,756	22,588
有形固定資産合計	39,233	53,922
無形固定資産		
ソフトウェア	1,286	1,009
のれん	161,858	167,198
無形固定資産合計	163,144	168,208
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	2,000
敷金及び保証金	35,413	42,453
長期貸付金	65,079	64,986
その他	7,230	7,755
貸倒引当金	△71,157	△69,610
投資その他の資産合計	38,565	47,584
固定資産合計	240,944	269,715
資産合計	2,660,504	2,380,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,455	44,731
1年内返済予定の長期借入金	57,486	52,244
未払費用	100,872	93,231
預り金	19,110	14,484
未払法人税等	50,581	49,212
その他	156,575	99,691
流動負債合計	431,082	353,595
固定負債		
長期借入金	79,594	53,468
繰延税金負債	368,134	314,261
固定負債合計	447,728	367,729
負債合計	878,811	721,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,808,240	1,808,240
利益剰余金	△919,064	△955,118
自己株式	△68,367	△68,367
株主資本合計	920,809	884,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	821,280	714,720
その他の包括利益累計額合計	821,280	714,720
新株予約権	39,603	35,742
非支配株主持分	—	23,814
純資産合計	1,781,692	1,659,031
負債純資産合計	2,660,504	2,380,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,529,329	900,057
売上原価	371,339	348,558
売上総利益	1,157,990	551,498
販売費及び一般管理費	718,712	753,202
営業利益又は営業損失(△)	439,278	△201,703
営業外収益		
受取利息	1,487	785
助成金収入	2,400	570
為替差益	—	2,473
その他	1,523	853
営業外収益合計	5,410	4,683
営業外費用		
支払利息	955	616
為替差損	3,469	—
その他	1,227	△1
営業外費用合計	5,651	615
経常利益又は経常損失(△)	439,037	△197,635
特別利益		
新株予約権戻入益	3,572	4,749
子会社株式売却益	—	154,709
雇用調整助成金	—	11,743
特別利益合計	3,572	171,202
特別損失		
固定資産除却損	517	41
損害賠償金	1,000	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	13,539
特別損失合計	1,517	13,581
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	441,092	△40,014
法人税、住民税及び事業税	1,355	1,625
法人税等還付税額	△395	—
法人税等合計	960	1,625
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440,131	△41,639
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,585
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	440,131	△36,054

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	440,131	△41,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,139,326	△106,560
その他の包括利益合計	1,139,326	△106,560
四半期包括利益	1,579,458	△148,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,579,458	△142,614
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△5,585

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。